

# 目次

口絵

序

凡例

総合解説

維新編

第一章 維新の戦乱と地域

第一節 地域における戊辰戦争

王政一新情報と勤王請書・願書／戊辰戦争下の軍用金・夫人足の調達／  
村役人の記録／商人の戊辰戦争情報

第二節 尾張藩諸隊の戊辰戦争

北越戦争／勝手御用達による軍用金調達

第三節 草莽諸隊と農兵

草薙隊／磅礴隊など／農兵

1

13

15

16

55

75

第二章 支配・制度の変容	117
第一節 新支配体制への移行	118
尾張の領地／三河の領地／額田県	
第二節 新支配体制の影響	137
城・役所などの払下げ・破却／士族屋敷／治安	
第三節 身分制の解体	152
帰田／士族編入／特権の廃止／被差別民	
第四節 交通制度の変化	175
駅通／陸運／郵便・電信／舟運／海運・武蔵丸一件	
第三章 地域社会と行政	209
第一節 地域社会の変容	210
制度変革と村／規則・禁制／村役人／村の負担／地域からの要望	
第二節 開発と管理	252
土地の開発／水の水管理／山の管理／争論	
第四章 産業と商業	295
第一節 産業・商業政策	296
布告・触書・布達にみる諸政策／明治初期の産物調査／博覧会と産物取立て／ 産業・商業振興の建白	

第二節	会所から会社へ	324
	名古屋藩国産会所／犬山藩・今尾藩の国産取立て／名古屋通商会社／ 西尾生産所支社一色生産所／額田県合併物産会社と分社／万歳社	
第三節	地域産業の変容	379
第五章	維新変革と寺社	391
第一節	名古屋藩の神社改訂記録	392
第二節	新政府下の寺社	409
	寺社の把握／朱印地と除地／名簿	
第三節	地域と寺社	443
	神社の称号／神職・僧侶の身分／村と神社／寺社の破却・統合	
第四節	尾張徳川家と寺社	484
第六章	貨幣の再編と藩債処分	491
第一節	尾張藩の新貨発行計画	492
第二節	金札と贖悪金	500
	金札の流通／贖悪金への対応	
第三節	藩札の発行と整理	519
	発行と流通／整理	

第四節	藩債処分	548
	旧大名家／旧旗本調達金	
第七章	民衆運動	575
第一節	凶作への対応	576
	年貢減免と拝借金願い／救恤と貧民救済／村で起きる騒動	
第二節	変革期の民衆運動	611
	稲葉騒動／伊那県騒動／土岐郡騒動／取締り	
第三節	大浜騒動	637
	発端と経過／鎮庄の過程／影響と処分	
第八章	社会と文化	665
第一節	記録からみた社会	666
第二節	生活	686
	暮らし／若者組／娯楽／信仰／結社	
第三節	医療・教育	704
	医療／郷学校・義校・小学校／諸学校・塾	
解説		735

第一章	村	825
第一節	年貢	825
第二節	村のありよう	829
第二章	支配	851
第一節	武家奉公	851
第二節	鷹狩り	852
第三章	境界と入会	859
第四章	土地と開発	870
第一節	開発	870
第二節	土地の譲渡	870
第五章	交通・流通	874
第六章	職人	879

第七章 宗教・文化	882
第一節 宗教	882
第二節 文化	884
解説	894
あとがき	903
執筆分担	906
資料提供者及び協力者	907
愛知県史編さん関係者名簿	910
史料群別掲載史料一覧	919
掲載史料編年一覧	924

# 細目次

## 維新編

### 第一章 維新の戦乱と地域

#### 第一節 地域における戊辰戦争

1	王政一新につき愛知郡杓掛村下高根分より鳴海代官所宛勤王請書控（慶応四年正月）……………	16
2	王政一新に伴う北方代官所より葉栗郡宮田村への通達および同村請書写（慶応四年正月・二月）……………	16
3	王政一新につき知多郡小鈴谷村より横須賀代官所宛請書写（慶応四年二月）……………	17
4	勤王御用仰せ付けられたきにつき宝飯郡八幡宮神主より尾張藩参与役所宛願書案文（慶応四年二月）……………	18
5	尾張藩への勤王証書提出および同藩出入り等に関する東観音寺の記録（抄）（慶応四年三月から四月）……………	18
6	二 戊辰戦争下の軍用金・夫人足の調達 軍用金上納につき海西郡市江組村々より佐屋代官所宛請書写（慶応四年二月）……………	23
7	軍用金家並掛り分上納出来かねるにつき葉栗郡宮田村より北方代官所宛嘆願書控（慶応四年二月）……………	24
8	知多郡松原村ほか四か村よりの軍用金上納につき覚書（慶応四年二月）……………	25
9	宝飯郡日色野村の軍用献金割合帳（慶応四年五月）……………	26
10	海東郡・海西郡村々より江戸・駿府等へ送り込んだ夫人足請負金割当ての覚書（慶応四年四月）……………	28
11	信州表へ送り込んだ夫人足請負金につき横須賀代官より支配所村々宛触書写（慶応四年閏四月）……………	30
12	海西郡荷之上組・市江組村々負担の京都夫人足・同守衛夫代につき覚書（慶応四年七月）……………	31
13	葉栗郡宮田村三輪源作の日記（慶応四年正月）……………	32
14	海西郡荷之上村庄屋服部家の日記（慶応四年正月）……………	40
15	四 商人の戊辰戦争情報 京都大合戦により諸市休止のため晒の注文見合せたきにつき竹之内源助宛書状（慶応四年正月）……………	49
16	鳥羽・伏見の戦いにて関東方大敗を伝える書状（慶応四年正月）……………	49
17	岡崎藩および城下の情勢を伝える加茂郡足助村小出畝外宛書状（慶応四年正月）……………	50
18	勅使先手東海道口等へ到着のため一旦取引停止につき竹之内源助宛書状（慶応四年三月）……………	51
19	吉田藩・岡崎藩の形勢内聞につき鳴海代官所宛達書写（慶応四年四月）……………	52
20	東海道筋鎮静により飛脚屋再開につき両替商より竹之内源助ほか宛書状（慶応四年五月）……………	53
21	上野戦争後の不景気により下落した木綿相場につき丁字屋より竹之内源助宛書状（慶応四年六月）……………	54
22	第二節 尾張藩諸隊の戊辰戦争 一 北越戦争 信濃飯山出兵につき渡辺寿綱より千賀信立宛命令書および付属諸隊長ほか書上（慶応四年四月）……………	55
23	北越への出兵につき新政府より元尾張藩主徳川慶勝ほか宛命令書写（慶応四年四月）……………	56
24	信濃飯山での戦功に元尾張藩主徳川慶勝満悦である旨を伝える書状（慶応四年閏四月）……………	56
25	直ぐに出張することは困難につき水野内蔵より成瀬正肥宛書状下書（慶応四年閏四月）……………	57

26	信濃飯山での戦功に対する元尾張藩主徳川慶勝より水野内蔵宛褒状写(慶応四年五月)……………	57
27	尾張藩千賀総隊長付属斥候細野一得の北越戦争陣中書状(慶応四年閏四月から十月)……………	58
28	二 勝手御用達による軍用金調達 三家紫ほかへ軍用金調達を命じる名古屋藩より申渡し書写(慶応四年六月・七月)……………	70
29	軍用金献納につき農方勝手御用達ほかへの申渡し書写(慶応四年七月)……………	71
30	調達金上納につき仕送り三家・除地四家・農商方への仰せ渡し書写(慶応四年八月)……………	72
31	越後の尾張藩本陣への軍用金輸送につき農商御用達より同藩勝手方勘定所宛請書写(慶応四年八月)……………	73
32	尾張藩への軍用金調達困難につき農商御用達より同藩勝手方勘定所宛嘆願書写(慶応四年八月)……………	74
	第三節 草莽諸隊と農兵	
	一 草薙隊	
33	草薙隊肝煎役林金兵衛の甲府出陣日記(慶応四年五月)……………	75
34	元北地隊の構成員および活動の記録(明治四年十一月)……………	80
35	身分復活につき元草薙隊員より国債寮・愛知県への上申記録(明治八年十一月・同九年七月)……………	89
36	二 磅礴隊など 磅礴隊の活動記録(明治七年)……………	92
37	元正気隊隊長久野長一の北越戦争における同隊戦歴記録(明治六年六月)……………	95
38	元集義隊隊長中川庄蔵の北越戦争・奥羽出兵における同隊戦歴記録(明治六年七月)……………	96
39	元東方忠烈隊隊員名簿(明治五年六月)……………	97
40	元忠烈隊の履歴につき村瀬八郎右衛門より愛知県宛届書写(明治八年五月)……………	101
41	兵隊屯所への出入りにつき名古屋藩南郡総管所より申渡し書写(明治元年九月)……………	101
42	管内の兵隊への給米・給金渡し方につき名古屋藩南郡総管所より申渡し書写(明治二年三月)……………	101
43	南北総管所兵員増員につき名古屋藩参政宛通知書写(明治二年七月)……………	103
44	南郡兵隊隊員不足のため周旋依頼につき豊田壮八郎より林金兵衛宛書状(明治二年十一月)……………	104
45	南郡兵隊解隊につき春日井郡上条村林金兵衛より名古屋県春日井郡出張所宛願書写(明治四年十月)……………	104
46	草薙隊・正気隊による名古屋城郭内外および市中巡邏実施に至るまでの記録(明治二年七月)……………	106
47	稜威隊隊員宝飯郡森村主佐竹刑部の日記(抄)(慶応四年五月から九月)……………	108
	三 農兵	
48	知多郡有松村竹田可三郎宛農兵締役頭取任命書(明治二年三月)……………	112
49	農兵編制につき農兵取締役兼役を命じる南郡総管所より村々庄屋宛申渡し書写(明治二年四月)……………	112
50	非常守の正合隊への編制替えに伴い指導者の継続を求める佐屋代官所宛願書下書(明治二年二月)……………	113
51	還幸における正合隊佐屋宿出動に対する下賜金受領書写(明治二年二月)……………	114
52	津島祭祀警固における服装等につき正合隊締役より同隊員宛廻状(明治三年六月)……………	114
53	農兵への徴用免除につき元交代寄合菅沼家新城役所宛願書写(慶応四年八月)……………	115
54	一番手農兵東京より帰着につき元交代寄合菅沼家新城役所より通知書写(明治元年十二月)……………	115



細目次

55	一番手・二番手農兵稽古始めにつき元交代寄合菅沼家新城役所より通知書写(明治二年正月)……………	115
<b>第二章 支配・制度の変容</b>		
<b>第一節 新支配体制への移行</b>		
一 尾張の領地		
56	尾張藩各総管ほかの任命および世祿制改正についての覚書(慶応四年八月)……………	118
57	今尾藩・犬山藩立藩に伴う名古屋藩との領地帰属をめぐる記録(明治元年十月から同三年十月)……………	119
58	名古屋藩より今尾藩への返地に伴う租税上納などにつき愛知郡南野村宛達書写(明治三年・同四年)……………	122
二 三河の領地		
59	三河国半原へ陣屋替えにつき武蔵岡部藩主安部信登より弁事役所宛願書写(慶応四年三月)……………	122
60	半原へ引越しの家臣を川崎屯営へ向かわせたきにつき武蔵岡部藩主より願書写(慶応四年四月)……………	123
61	三河裁判所設置につき達書写(慶応四年四月)……………	124
62	旧幕府よりの判物提出につき三河裁判所より達書写(慶応四年閏四月)……………	124
63	三河県赴任に伴う事務執行方法につき知事長岡謙吉より何書写(慶応四年六月)……………	124
64	三河県設置に伴い三河裁判所廃止につき達書写(慶応四年七月)……………	125
65	三河国内の所領返還を求める上総大多喜藩大河内家家臣より願書写(明治元年十月)……………	125
66	元旗本柴田家の本領安堵および上知に関する記録(明治元年十一月から同二年七月)……………	126
67	三河県廃止に伴う伊那県足助役所設置につき西大平藩参政より同役所宛挨拶状(明治二年九月)……………	128
68	設楽郡村々が三河県から駿河静岡藩を経て重原藩管轄となるに至るまでの記録(明治二年九月)……………	129
69	従来の陣屋手狭のため重原山へ移転したきにつき重原藩より何書写(明治二年十一月)……………	130
70	駿河静岡藩管轄となるにつき同藩より宝飯郡牛久保村宛達書写(明治二年九月)……………	131
71	伊那県より駿河静岡藩へ引渡しとなる三河国村々につき同県より弁事役所宛何書写(明治四年正月)……………	132
72	遠方の管轄村々を藩庁近辺へ村替えしたきにつき豊橋藩より弁事役所宛願書写(明治三年九月)……………	133
73	支配地取納高六か年平均提出猶予につき豊橋藩より民部省宛願書写(明治三年十月)……………	134
三 額田県		
74	尾張国知多郡・三河国加茂郡管轄地を額田県管轄地とするにつき太政官布告写(明治四年十一月)……………	134
75	宝飯郡西原村を王政一新以降に管轄した支配役所変遷の記録(明治四年十一月)……………	134
76	額田県設置に伴う当面の対応などにつき静岡県赤坂郡方役所より達書写(明治四年十二月)……………	135
77	大山県から額田県へ管轄替えとなる際の知多郡亀崎村の記録(明治五年正月から三月)……………	136
<b>第二節 新支配体制の影響</b>		
一 城・役所などの払下げ・破却		
78	今後発生する豊橋城破損箇所修理を加えないにつき豊橋藩より弁事役所宛何書写(明治三年九月)……………	137
79	田原城内外建物等払下げの入札通知書写(明治五年三月)……………	138
80	旧上総菊間藩出張所払下げ一件記録(明治五年七月から九月)……………	138
81	岡崎城ほか四か城建物払下げ代金上納書(明治七年四月)……………	140

82	旧名古屋藩小牧御殿跡地払下げにつき春日井郡小牧村江崎祐八より愛知県宛願書控(明治六年八月)……………	141
83	旧熱田東浜御殿書上げ・払下げ時の買戻し代金につき愛知県より租税頭宛願書写(明治六年十二月)……………	141
84	東京の市ヶ谷屋敷などを引続き拝領したきにつき名古屋藩より弁事役所宛願書写(明治元年十二月)……………	142
85	名古屋城三之丸成瀬正肥邸内の桑苗取りをめぐる愛知県と陸軍との折衝記録(明治七年十二月)……………	143
二 土族屋敷		
86	元名古屋藩士佐久間十兵衛上り屋敷拝借したきにつき同藩士族佐々鎗助より願書等写(明治四年)……………	144
87	住居建設相当額下賜により自力で住居用意につき名古屋藩元門番同心らより願書写(明治四年六月)……………	145
88	知多郡師崎村への居住継続を許可につき名古屋藩元水主同心らより願書写(明治四年三月)……………	145
89	今尾県士族居住につき他村への繰替えを求める愛知県南野村より願書(明治四年八月)……………	146
90	今尾県士族に対する仮住居引受けにつき愛知県南野村より同県宛請書写(明治四年十一月)……………	147
91	旧岡崎藩士への旧額田県官舎下げ渡し方法につき愛知県より伺書(明治七年五月)……………	147
三 治安		
92	捕縛などに必要な提灯等を村々で用意するにつき今尾藩村市局より達書写(明治二年正月)……………	149
93	名古屋・熱田における屯所設置規則および取締り方の心得五か条写(明治四年十二月)……………	149
94	目を廃止するにつき額田県より郡長宛布達写(明治五年二月)……………	150
95	旧名古屋藩より海岸警備のため支給された鉄砲はなきにつき額田県宛届書控(明治五年五月)……………	150
96	巡丁席次につき愛知県より達書写(明治六年五月)……………	151
97	犯罪を犯した士族・卒への刑罰につき豊橋藩より刑部省宛伺書写(明治四年七月)……………	151
	第三節 身分制の解体	
	一 帰田	
98	名古屋藩帰田大綱試案(明治元年)……………	152
99	帰田に伴う藩士への田地売買禁止解除につき名古屋藩より達書写(明治三年十月)……………	153
100	名古屋藩の指図を経て藩士への地所譲渡等を行うにつき同藩より達書写(明治三年十二月)……………	154
101	帰田手当金支給等につき名古屋藩より達書写(明治三年十一月・十二月)……………	155
102	名古屋藩士族小達宗益の帰田による東京移住に関する記録(明治三年十二月から同四年三月)……………	156
103	帰田に際し村方諸役負担につき元渡辺半藏家臣より加茂郡寺部村庄屋宛約定書写(明治三年七月)……………	157
104	帰田に際し譲り受けた田畑につき元渡辺半藏家臣松本喜三太より届書写(明治四年十月)……………	158
105	刈谷県士族・卒に対する帰田仕法金計算違いに関する出願一件(明治四年九月)……………	159
106	帰農の意思あるにつき岡崎県士族太地生雄より触頭宛願書写(明治四年十一月)……………	161
107	士族の帰農を伝える新聞記事(明治五年正月)……………	161
108	帰田地から旧拝借屋敷へ帰住したきにつき名古屋県士族大塩龍五郎より願書(明治五年五月)……………	162
109	帰田する士族への百姓の対応につき名古屋藩東方出張所より達書写(明治四年二月)……………	162
110	帰田調達金出金に関する願書取り下げたきにつき海東郡佐屋村元御用達より願書写(明治五年正月)……………	163

122	二 士族編入	123	今切関所廃止までの警衛諸経費下賜につき豊橋藩より大蔵省宛願書等写(明治二年五月・七月)……………
	愛知県平民旧信濃龍岡藩銃卒による士族編入願書(明治十年)……………	124	銭払底にて人馬継立差支えのため手当支給につき二川駅ほかより三河県宛願書写(明治二年八月)……………
121	旧名古屋藩重臣石河家家臣による士族編入願書(明治十年一月)……………	125	駅法改正に伴う人足御用勸方規則につき藤屋伝左衛門より鳴海駅伝馬所宛請書写(明治二年十月)……………
	三 特権の廃止	126	駅法改正に伴う熱田駅伝馬継立につき名古屋藩農政係より同藩内各局宛通知書写(明治三年四月)……………
119	尾張国内での鋳物師の活動につき水野太郎左衛門家と真継家との折衝記録(明治二年)……………	127	駅法改正に伴う伝馬所統合を行わず従来通りにしたきにつき二川駅より願書写(明治三年六月)……………
118	褒賞による苗字許可および平民苗字許可に伴う取扱い変更につき達書(明治三年・同四年正月)……………	128	豊橋駅付属他藩県村々不勤滞金につき示談督促を求める豊橋藩より民部省宛願書写(明治三年十月)……………
117	小牧屋敷守兼古城山守の職務遂行のため帯刀許可につき願書写(明治四年八月)……………	129	鉄道係および外国人美濃路通行につき鶴多須役所より中島郡富田村ほか宛通知書(明治三年十一月)……………
116	枇杷島橋橋守再任命につき春日井郡下小田井村野口市兵衛より愛知県宛願書控(明治五年九月)……………	130	伝馬所取締役同様の役料支給につき起駅伝馬所元締役より農商方役所宛願書控(明治四年二月)……………
115	郷士家筋の者取調書届け出につき額田県より郡長宛達書写(明治五年三月)……………	131	中島郡起村船人への扶持米返納方用捨につき船人惣代より鶴多須出張所宛願書写(明治四年七月)……………
114	幡豆郡大戸村郷士三矢家および額田郡芦谷村郷士小島家の由緒書(明治五年三月)……………	132	駅法改正に伴い不要となった旧鳴海宿伝馬所譲り渡しにつき同宿村役人より証文写(明治四年十月)……………
113	郷士になりたきにつき知多郡東阿野村医師三田無忍より額田県宛願書控(明治五年四月)……………	133	鳴海駅飯盛り女無期限雇い入れにつき同駅旅籠屋惣代より駅通察宛願書写(明治四年八月)……………
	四 被差別民	134	熱田・鳴海両駅での飯盛り女らの渡世心得方につき各区長宛通知書写(明治五年十月)……………
120	牢守への一刀・羽織免許をめぐる伊那県足助役所と同県との一件記録(明治四年四月から五月)……………		二 陸運
121	身分解放令に伴う被差別民に関する風聞についての新聞記事(明治五年正月)……………	135	運輸会社開設につき清須駅ほか美濃路宿駅より駅通察宛願書写(明治四年十一月)……………
	第四節 交通制度の変化	136	入社につき二川駅陸運会社宛誓約書写(明治四年十二月)……………
	一 駅通	137	相对賃銭による人馬継立所運営困難につき春日井郡清須村より愛知県宛願書控(明治五年八月)……………
	佐屋宿伝馬所取締役選出につき海西郡荷之上村服部繼より佐屋代官所宛意見書写(明治元年十一月)……………		

138	新城物産会社等が設立した陸運中牛馬会社の規則書控 (明治六年十二月)……………	190
139	川陸両運会社設立につき願書・誓約書雛形ならびに会社規則 書写(明治七年十二月)……………	191
140	人力車課税のため所有者に対し通商会社への出頭を命じる通 知書写(明治四年十一月)……………	193
141	村方生計のため人力車二〇挺取立てにつき葉栗郡宮田村庄屋 より名古屋県宛願書控(明治五年二月)……………	193
142	三 郵便・電信	
142	新式郵便制度開始に伴う書状収集方法および宿役人の役割変 更の記録(明治四年正月・十二月)……………	194
143	郵便書状集箱の寸法問合せにつき大橋金一郎より飯田孫三郎 宛書状……………	196
144	新式郵便制度開始に伴う代人足提供につき請書雛形 (明治四年二月)……………	196
145	二川駅伝馬所年寄役倅清水市郎へ郵便取扱いも命じる申渡し 書写(明治四年三月)……………	197
146	郵便取扱開始につき宝飯郡赤坂村郵便取扱人より額田県宛 伺書(明治五年八月)……………	197
147	名古屋以西の美濃路および中山道筋への郵便運搬方法につき 駅通察より布達写(明治五年十一月)……………	198
148	知多郡横須賀村に飛脚会所再設置につき村々より額田県知多 郡出張所宛願書写(明治五年二月)……………	198
149	電信線路測量日延引につき赤坂駅伝馬所より宝飯郡長沢村は か宛通知書写(明治四年十月)……………	199
150	電信線への破壊行為取締りにつき額田県より布達写 (明治五年四月)……………	199
151	四 舟運	
151	豊川筋の流材管理は引続き東上番所が行うにつき同番所より 川筋村々宛通知書写(慶応四年八月)……………	200
152	豊川筋の流材取締りにつき豊橋藩より弁事役所宛伺書写 (明治三年十一月)……………	200
153	木曾川通行の荷船運漕のため新較若井筋入船したきにつき葉 栗郡宮田村より願書写(明治五年十月)……………	201
154	通船のため矢作川開削につき愛知県より内務卿宛伺書 (明治七年一月)……………	202
155	五 海運・武蔵丸一件	
155	蒸気船寄航のため幡豆郡平坂港地先新開築立につき西尾藩よ り弁事役所宛伺書写(明治四年四月)……………	203
156	回漕会社開業のため武蔵丸購入したきにつき西尾平坂湊会社 取扱所より願書写(明治四年二月)……………	204
157	伊豆網代浦にて出火のため武蔵丸沈没につき回漕会社頭取よ り愛知県宛願書写(明治六年四月)……………	205
158	物産会社資本金・武蔵丸購入資金借入金につき旧西尾藩士よ り松平乗承宛嘆願書写(明治七年九月)……………	206
159	武蔵丸の購入は旧藩主家とは無縁につき旧西尾藩士より松平 乗承宛書状(明治七年十月)……………	208
<b>第三章 地域社会と行政</b>		
<b>第一節 地域社会の変容</b>		
<b>一 制度変革と村</b>		
160	今尾藩立藩に伴い尾張国内に出張所設置を求める中島郡下津 村ほかより願書写(明治二年八月)……………	210
161	立藩に伴い名古屋藩領となる新田へ愛知郡南野村から引越し につき同村より願書写(明治二年八月)……………	211
162	竹腰家鷹場が名古屋藩支配となるに伴い農事村請につき願書 写(明治二年十一月)……………	212
163	今尾藩へ管轄替えにつき名古屋藩管轄の継統を求める早川理 右衛門らより願書写(明治三年十一月)……………	213
164	宝飯郡国府村への裁判所設置を求める同村より願書控 (慶応四年六月)……………	215

細目次

179	178	177	176	175	174	173	172	171	170	169	168	167	166	165
役所役宅・牛屋等普請入用金額上納を命じる静岡県赤坂郡方役所より通達写(明治四年九月)……………	郷村々勤金と滞金取調帳(明治三年)……………	慶応四年五月から明治三年三月までの伊那県管轄の二川駅助郷村々勤金と滞金取調帳(明治三年)……………	御用状配達費用を佐屋代官所支配下村々で負担することを求める願書写(明治二年十一月)……………	名古屋藩より通達写(明治二年九月)……………	家禄が定まるまで給知村から地頭へ飯米仕送り継続を命じる	四 村の負担	第五大区八小区副戸長・副戸長介の履歴および人物評価書(抄)(明治六年八月)……………	正権区長ら退役の際の後任選出方法につき愛知県より通達写(明治五年十月)……………	第一大区九小区戸長一覽および月番心得書写(明治五年六月)……………	村役人を入札で決定するにつき村民一同による規定一札(明治三年十二月)……………	入札で決定した村役人の任命を求める宝飯郡森村より三河県宛願書写(明治二年三月)……………	三 村役人	駿河静岡藩宛五人組仕置帳写(明治三年三月)……………	往古同郷の宝飯郡国府村と同様御料支配を求める同郡森村ほかより信濃県宛願書控(明治二年八月)……………
241	237	236	235	232	229	228	227	226	225	223	219	217	215	215
193	192	191	190	189	188	187	186	185	184	183	182	181	180	
美濃側村々での木曾川堰球の築造中止を求める佐屋川流域村々より願書写(明治元年十一月)……………	笠松県による木曾川治水建言書(明治元年十一月)……………	尾張徳川家より達書写(明治六年四月)……………	旧名古屋藩によって割渡しの開発地復古には関与せずにつき	碧海郡安城村など林地開発に伴う地価決定につき駿河静岡藩より弁事役所宛伺書写(明治四年五月)……………	三藩管轄地での新田開発の進退を各藩で決議するにつき豊橋藩より民部省宛願書写(明治三年九月)……………	三河国での新田開発許可を求める洛西大秦村郷士より会計官宛願書写(明治二年六月)……………	旧里近郷の碧海郡上野郷での開発許可を求める上総一宮藩士より願書写(明治二年九月)……………	員外社地の土族払下げ取消しと村内への払下げを求める知多郡大井村より願書(明治十一年四月)……………	旧幕府領以来の備荒貯蓄継続を求める設楽郡福橋村古橋源六郎の建言書草稿(明治十五年以降)……………	村より愛知県宛願書写(明治八年九月)……………	官有地の葉栗郡黒岩村帰属決定承服しがたきにつき同郡宮田村より願書(明治六年)……………	春日井郡清須鍋屋分の同郡須ヶ口村への合併を求める願書写(明治六年)……………	外国交易の減少を求める設楽郡小田木村名主より伊那県足助役所宛建言書控(明治二年十一月)……………	知多郡有松村の村諸人用書上帳(明治五年五月)……………
263	260	260	258	257	254	252	251	249	247	247	246	242	242	
			二 水の管理	一 土地の開発	第二節 開発と管理						五 地域からの要望			

194	境川砂防普請を求める愛知郡番掛新田ほかより願書草稿および面談記録(明治二年三月・八月)……………	265
195	碧海郡中島村の井堰撤去につき菱池廻り一五か村より三河県宛願書控(明治二年七月)……………	267
196	海西郡芝井・稲元両輪中の悪水処理方法をめぐる名古屋藩の記録(明治三年二月)……………	268
197	新規賦課の堤防修繕入費国役金への対応をめぐる名古屋藩の記録(明治四年五月)……………	273
198	災害時不便につき廃止された杖守の再置を求める愛知郡大江新田より願書写(明治五年八月)……………	275
199	木曾川治水につき岐阜県安八郡土倉村浄雲寺住職による建言書写(明治八年三月)……………	276
	三 山の管理	
200	東上分一番所において百姓荷物への課税を求める豊川上流村々より赤坂役所宛願書写(明治二年)……………	277
201	官林払下げを求める知多郡佐布里村より愛知県宛願書写(明治六年十一月)……………	278
202	旧名古屋藩支配の山地払下げを求める知多郡追分村より愛知県宛願書控(明治七年二月)……………	279
203	官林見廻り係が一代抱雑使となるにつき再考を求める元官林見廻り係より願書写(明治五年九月)……………	280
	四 争論	
204	宝飯郡前芝村地先ほかにおける海苔採取場争論内済につき証文(慶応四年閏四月)……………	281
205	宝飯郡前芝村における海苔取仲間規則連印帳(明治五年八月)……………	284
206	段戸山と周辺村々との御林境につき重原藩宛届書控(明治三年八月)……………	286
207	設楽郡川手村と同郡御所貝津村の山論をめぐる重原藩と伊那県の交渉記録(明治四年六月から九月)……………	288
208	鷲蔵池開発をめぐる碧海郡里村と同郡粟寺新郷との争論の記録(明治二年十月・同三年五月)……………	290
	第四章 産業と商業	
	第一節 産業・商業政策	
	一 布告・触書・布達にみる諸政策	
209	大坂銅会所へ銅を輸送すべきにつき太政官布告写(慶応四年四月)……………	296
210	硝石以外の他所売解禁につき名古屋藩横須賀代官より触書写(慶応四年五月)……………	296
211	名古屋藩国産会所設置につき同藩南郡総管所より触書写(明治二年二月)……………	297
212	茶を国産物として横須賀町方の会所にて売買すべきにつき南郡総管所より触書写(明治二年三月)……………	297
213	酒造仕込高を酒株高の二割とすべきにつき名古屋藩南郡総管所より触書写(明治二年十月)……………	297
214	有松会所の改印なき絞り下地の名古屋送り禁止につき南郡総管所より触書写(明治二年十月)……………	298
215	穀物輸送の願い出の方法につき名古屋藩南郡郡宰方より触書写(明治三年二月)……………	298
216	知多郡有脇村山口輪助を桑苗植付けの世話役とするにつき南郡郡宰方より触書写(明治三年二月)……………	299
217	米穀の積出しを自由化するにつき名古屋藩南郡出張所より触書写(明治四年正月)……………	299
218	知多郡の製茶生産者・仲買へ鑑札交付につき名古屋藩南郡出張所より触書写(明治四年三月)……………	300
219	通商会社廃止に伴う株仲間廃止・新鑑札配布等につき名古屋県より布達写(明治五年四月)……………	300
220	七宝業を開業する者は七宝会社に入社すべきにつき愛知県より布達写(明治五年五月)……………	301

細目次

221	二 明治初期の産物調査	301
	設楽郡三ツ瀬村の産物取調書（明治四年四月）……………	
222	設楽郡田峯村ほか五か村の産物取調書上帳下書 （明治四年六月）……………	302
223	碧海郡上井ヶ谷村の産物調書写（明治六年三月）……………	305
224	三 博覧会と産物取立て ウイーン万国博覧会への出品につき愛知県より布達写 （明治五年四月）……………	306
225	ウイーン万国博覧会出品のため愛知県・額田県で収集された 産物一覽（明治六年）……………	306
226	額田県岡崎博覧会およびウイーン万国博覧会に関する記録 （明治五年五月から七月）……………	311
227	名古屋博覧会開催につき票告および規則書（明治七年二月）……………	313
228	四 産業・商業振興の建白 商法および国益方につき八名郡乗本村菅沼正兵衛より三河県 宛建白書下書（明治元年十月）……………	316
229	養蚕・製茶などの産物盛業策につき八名郡乗本村菅沼正兵衛 より愛知県宛建白書写（明治七年八月）……………	322
	第二節 会所から会社へ	
	一 名古屋藩国産会所	
230	葉栗郡宮田村国産会所規則書（明治二年十一月）……………	324
231	藍玉を名古屋藩国産物とされたきにつき海東郡・海西郡村々 の製造者より願書写（明治二年六月）……………	326
232	海東郡津島村水野長八を佐織綿元締役として仮会所設置につ き書状（明治二年七月）……………	327
233	知多郡有松村ほかへ流入の名古屋絞りの取次につき有松絞り 取次職より願書写（明治三年六月）……………	327
234	二 犬山藩・今尾藩の国産取立て 中島郡三宅村産の切干大根を国産物とされたきにつき同村安 蔵より犬山藩宛願書控（慶応四年八月）……………	330
235	明治元年分の切干大根販売につき中島郡三宅村伊藤安蔵より 犬山藩産物役所宛届書控（明治二年）……………	331
236	産物会所を設置して大阪などに国産物を売却するにつき今尾 藩より触書写（明治元年十二月）……………	331
237	今尾製産会所が大阪・京都に売るため鯉買取りにつき触書写 （明治二年七月）……………	333
238	今尾製産会所が大阪から仕入れた干鰯・砂糖の販売につき触 書写（明治二年七月）……………	334
	三 名古屋通商会社	
239	炭薪業社中商律（明治四年五月）……………	334
240	味噌溜業社中商律（明治四年九月）……………	336
241	信州産物業社中商律写（明治四年十月）……………	338
242	錢屋業社中商律（明治四年十二月）……………	341
243	旧信州問屋の名古屋通商会社廃止後の記録 （明治五年三月から同六年一月）……………	342
	四 西尾生産所支社一色生産所	
244	高須清兵衛店を借用し一色生産所出店したきにつき西尾藩宛 願書写（明治三年三月）……………	347
245	一色生産所の業務および役職につき口上書写 （明治三年）……………	347
246	明治三年および同四年の一色生産会社営業内容一覽 （明治五年）……………	348
	五 額田県合併物産会社と分社	
247	額田・加茂両郡物産会社設立につき願書および取立て仕法書 控（明治五年二月）……………	349
248	額田県物産会社分社設立に関する一件記録 （明治五年三月から十一月）……………	350

249	西尾において物産会社轄豆部分社設立につき一件記録 (明治五年二月)……………	356
250	物産会社轄豆部分社第二則(明治五年三月)……………	360
251	西尾生産所から物産会社轄豆部分社設立に至る経緯および現 状につき始末書(明治八年三月)……………	362
252	豊橋物産分会社設立の一件記録(明治五年二月)……………	363
253	豊橋物産分会社新城出張所の設立および諸事業につき願書写 (抄)(明治五年・同六年)……………	368
254	六 万歳社	
254	万歳社海上請負法則(明治七年)……………	376
255	万歳社洋銀取引規則書(明治七年以降)……………	378
256	海面鰯漁稼方規則につき名古屋藩より周辺臨海諸藩・県宛問 合せ書写(明治三年十月)……………	379
257	設楽郡川合村御林での椎茸栽培継続につき伊那県足助役所宛 願書写(明治四年正月)……………	379
258	葡萄酒社結社につき設楽郡新城村大田亀十郎より願書および規 則書(抄)(明治六年十二月)……………	383
259	県税賦課の取調べにつき第二天区より愛知県果苑照会および県 よりの回答写(明治九年七月)……………	385
<b>第五章 維新変革と寺社</b>		
<b>第一節 名古屋藩の神社改訂記録</b>		
260	名古屋藩士山田千疇の「神社改訂日誌」 (明治二年から同三年)……………	392
<b>第二節 新政府下の寺社</b>		
一 寺社の把握		
261	王政一新に伴い領内の神社由緒差出しにつき名古屋藩北方代 官より触書写(明治元年九月)……………	409
262	葉栗郡宮田村内八社の由緒等届書控(明治元年十月)……………	409
263	加茂郡山蔵村の社寺改書上帳控(明治二年九月)……………	411
264	宝飯郡下佐脇村神主による同村佐脇神社取調書上帳写 (明治三年六月)……………	411
265	布告記載の官幣神社の定義につき豊橋藩より神祇官役所宛伺 書写(明治三年七月)……………	412
266	管内寺院本末寺号取調提出猶予につき豊橋藩より弁事役所宛 通知書写(明治三年十一月)……………	413
267	国内大小神社調査につき犬山藩社寺局より藩領内神主宛通知 書写(明治三年十一月)……………	413
268	渥美郡牟呂村牟呂八幡宮につき同宮大宮司より届書写 (明治三年十一月)……………	414
269	春日井郡小牧原新田津島社につき同社神子職より届書写 (明治三年十二月)……………	417
270	宝飯郡一色村宝喜神社につき同村より駿河静岡藩赤坂郡方役 所宛届書写(明治三年十二月)……………	417
271	式内社への神主配置などにつき名古屋藩より伺書写 (明治二年三月)……………	418
272	宝飯郡豊川村妙厳寺境内豊川明神神仏区別につき西大平藩よ り神祇官宛伺書写(明治四年)……………	420
<b>二 朱印地と除地</b>		
273	領地高改正に伴い判物持参につき本願寺坊官らより碧海郡中 之郷村浄妙寺宛通知書(慶応四年五月)……………	421
274	朱印高につき轄豆郡岡山村花岳寺より弁事役所宛届書写 (明治元年十月)……………	422
275	妙興寺領丹羽郡鳥宮村の高等取調帳(明治四年正月)……………	422
276	朱印地・除地上地により神社地の争論差止めにつき設楽郡小 松野村訴訟方の証文写(明治四年二月)……………	423



細目次

277	熱田神宮領を従前通り据え置きたきにつき名古屋藩より弁事役所宛願書写（明治四年三月）……………	424
278	猶予を願っていた神社収納高取調へ提出につき豊橋県より神祇省宛通知書写（明治四年十月）……………	425
279	元治元年から明治二年までの社寺除地納付高につき加茂郡太田村より届書写（明治五年七月）……………	425
280	明治五年分の旧社寺領半租石代金につき碧海郡大浜村称名寺ほかより受取書控（明治八年三月）……………	426
281	知多郡廻村につき名古屋藩社寺方より村々庄屋宛通知書写（明治四年五月）……………	427
282	春日井郡中志段味村社人水野孫永所持の神社につき同村より届書写（明治四年八月）……………	428
283	村内には須佐之男神社境内社木等なきにつき設楽郡池場村より伊那県宛願書写（明治四年十一月）……………	428
284	元社寺領朱印地・除地等調査のため官員巡村につき愛知県租税課より通知書写（明治五年六月）……………	429
285	三 名簿	
286	大山藩領の社寺人数改帳（明治二年十月）……………	431
287	愛知県内郷社神号および新神官の名簿（明治五年）……………	436
288	額田県管内神社の神職名簿（明治五年）……………	440
289	第二節 地域と神社	
290	一 神社の称号	
291	息子への相続と社名改号を求める宝飯郡森村惣領守神主より三河県宛願書写（慶応四年七月）……………	443
292	延喜式神名帳における石刀神社は当社につき訂正を求めると願書写（明治元年十二月）……………	444
293	葉栗郡宮田村天王社を川島神社と唱えたいにつき同村社人より神社方役所宛願書写（明治三年十月）……………	445
294	自分所持の天神社が式内社であるとの確定を求めると丹羽郡北山名村神主より願書控（明治二年十月）……………	445
295	葉栗郡光明寺に鎮座の神像を旧里丹羽郡北山名村へ返還につき同寺より約定書写（明治二年二月）……………	462
296	従来不所持の禰宜許状交付につき設楽郡奈根村須佐之男神社宜より三河県宛願書写（明治二年三月）……………	462
297	加茂郡南・北古瀬間村の氏神八王子社をめぐる争論内済につき取り替わし証文写（明治二年七月）……………	463
298	加茂郡南・北古瀬間村氏神八王子社神殿鍵預け方につき証文下書（明治二年）……………	464
299	神職許状のための上京および家内一同神葬祭の許可を求めると足助役所宛願書写（明治二年十月）……………	465
300	従来通りの神主職継続を求めると設楽郡河内村より神主宛願書写（明治三年三月）……………	466
301	設楽郡栗代村の神職願取下げに伴い内済につき同村氏子一同取決め書（明治三年正月）……………	467
302	取決め書の内容書替えに伴う費用負担につき設楽郡栗代村氏子による取決め書控（明治三年二月）……………	468
303	津島神社神宮寺宝寿院社僧宥三による社僧廃止に関する記録（抄）（慶応四年四月）……………	447
304	設楽郡奈根村神主による記録（明治元年から同四年）……………	455
305	神孫血統家筋・神社由緒尋ね方につき葉栗郡宮田村より北方邑宰方宛届書（明治三年八月）……………	457
306	神職の叙爵差止めに伴う身分編入方につき豊橋県より神祇省宛届書写（明治四年八月）……………	458
307	旧神官廃止に伴い宮社の鍵返却などにつき愛知県より旧社家中宛通知書（明治五年四月）……………	459
308	郷社祠官・村社祠掌月給の取扱い方についての記録（明治五年四月・五月）……………	459
309	三 村と神社	
310	葉栗郡宮田村宮田神社を式内社川島神社に復したきにつき同村副戸長より願書写（明治六年五月）……………	446
311	二 神職・僧侶の身分	

307	惣氏子へ相談なく神職を願うにつき設楽郡小谷下村神主らより同郡間袋村宛詫状(明治三年三月)……………	468
308	設楽郡小谷下村元名主が神職となるに伴う勤務に関する同村と同郡間袋村の約定書(明治二年四月)……………	469
309	設楽郡小谷下村・間袋村の産土神につき伊那県足助役所宛願書写(明治四年二月)……………	470
310	一村惣氏子となるに伴う葉栗郡宮田村神明社の管理につき取り替わし証文写(明治三年十二月)……………	471
311	海西郡給父村長念寺内の富長神社を村社としたきにつき同郡川北村より願書(明治四年四月)……………	473
312	旧来村方へ勧請の小祠を村社とするか問合せにつき豊橋県より神祇省宛伺書写(明治四年十月)……………	474
313	氏子調べ停止につき教部省より布告写(明治六年六月)……………	474
314	四 寺社の破却・統合	
314	廢却寺院の仏像・堂宇・地所等の取扱い方につき愛知県より通知書写(明治六年三月)……………	475
315	神仏廢却につき設楽郡老平村ほかより愛知県宛願書写(明治六年四月)……………	475
316	設楽郡栗島村山ノ神社廢却につき再建願書および廢却跡届書控(明治六年八月)……………	476
317	西三河地域の浄土宗寺院の合併・廢寺届書写(明治七年一月)……………	476
318	第四節 尾張徳川家と寺社	
318	東照宮神官職の待遇につき同神主吉見ほかと尾張徳川家との交渉一件記録(明治四年四月・五月)……………	484
319	東照宮祭礼の諸費用の寄付をめぐる同宮神主と尾張徳川家との一件記録(明治四年四月)……………	485
320	尾張徳川家より東照宮への供物調進を従来通り同宮元神官にさせたきにつき願書写(明治五年五月)……………	486

321	尾張徳川家が行ってきた東照宮の修理は愛知県で行われたきにつき同家より願書写(明治五年六月)……………	487
322	東照宮が村社となるに伴う供物調進取扱い方の変更を伝える尾張徳川家の記録(明治五年八月)……………	487
323	東照宮例祭舞楽奉納につき尾張徳川家より愛知県宛願書(明治七年五月・同九年五月)……………	488
324	定光寺定番につき同寺日応より尾張徳川家宛願書写(明治三年正月)……………	489
	第六章 貨幣の再編と藩債処分	
	第一節 尾張藩の新貨発行計画	
325	尾張藩領内限定の貨幣発行計画に関する記録(慶応四年正月から三月)……………	492
	第二節 金札と贖悪金	
	一 金札の流通	
326	金札不融通に伴う名古屋藩による小切手発行に関する記録(明治元年十二月)……………	500
327	名古屋藩における金札融通のための正金調達に関する記録(明治二年六月)……………	501
328	金札融通のための調達金の負担割合につき葉栗郡宮田村惣庄屋ほかより願書写(明治二年六月)……………	506
329	金札借用につき八名郡一〇か村より三河県宛証文写(明治二年正月)……………	507
330	金札借用につき設楽郡下栗代村小前より同村役人宛請書(明治二年二月)……………	507
331	荷継問屋運転資金に紙幣借用につき設楽郡新城村吉左衛門ほかより願書控(明治二年十一月)……………	509
	二 贖悪金への対応	
332	贖金預かり切手発行につき南郡総管所より知多郡小鈴谷村盛田久左衛門ら宛達書写(明治二年九月)……………	509

333	悪金引替え方法につき名古屋藩管下村々惣代より願書写 （明治二年十一月）……………	509
334	悪金引替え方法の統一を求める名古屋藩陣屋各惣代ほかより 大代官所宛願書写（明治二年十一月）……………	510
335	贖悪金引替えの会所設置につき海東郡・海西郡惣代より佐屋 代官所宛申入れ書写（明治二年十一月）……………	511
336	贖悪金引替えのため村内通用の切手発行につき知多郡岡田村 庄屋ほかより願書控（明治三年八月）……………	512
337	贖金の引替えを求める設楽郡島田村小前らより三河県宛願書 写（明治二年七月）……………	512
338	悪金引替えのための紙幣発行したきにつき三河国を管轄の諸 藩県より願書写（明治二年十一月）……………	514
339	贖金処置のため金札借用につき伊那県足助役所ほかより再願 書写（明治三年正月）……………	515
340	管内で発生した贖金事件の処理をめぐる豊橋藩と新政府との 交渉記録（明治三年正月から六月）……………	516
341	豊橋藩管内で没収した贖金の太政官札との引替えにつき同藩 より大蔵省宛願書写（明治三年八月）……………	518
<b>第三節 藩札の発行と整理</b>		
<b>一 発行と流通</b>		
342	米札の流通と改印につき豊橋藩大監察・内監察より達書写 （明治二年三月・四月）……………	519
343	藩札流通につき豊橋藩より弁事役所宛伺書写 （明治二年七月）……………	520
344	銭札の流通および引替えに関する豊橋藩よりの触書写 （明治二年九月・同三年三月・八月）……………	520
345	金銭贈物札発行につき西端藩より触書写（明治二年九月）……………	521
346	名古屋藩による諸色切手・配符発行と引替えに関する記録 （抄）（明治二年十二月から同五年二月）……………	522
347	廃止とされた藩札の通用再開を求める拳母藩公用人より弁事 役所宛願書写（明治二年正月）……………	534
348	増印押印により銭札通用につき拳母藩より触書写 （明治三年二月）……………	535
349	新旧銭札の混合通用許可につき拳母藩より触書写 （明治三年三月）……………	535
350	岡崎藩藩札の改造不届き一件に関する記録 （明治四年二月・五月）……………	536
<b>二 整理</b>		
351	藩札引替えおよび製造器械等の処分につき西端藩より届書写 （明治三年十一月から同四年九月）……………	537
352	銭札引替えにつき半原藩より弁事役所宛届書写 （明治三年十二月）……………	539
353	銭札整理につき旧半原県より大蔵省宛届書写 （明治四年十一月）……………	540
354	諸色預かり切手廃止につき知多郡小鈴谷村盛田久左衛門ほか 宛達書写（明治四年八月）……………	541
355	藩札発行高につき西尾県より大蔵省宛届書写 （明治四年十月）……………	541
356	永札の流通および引替えなどにつき旧田原県より大蔵省宛届 書写（明治四年十月から十二月）……………	542
357	諸色配符切手の引替え期限につき愛知県より布達 （明治五年四月）……………	545
358	未交換の永札・銭札高につき旧豊橋県より額田県宛届書写 （明治五年七月）……………	545
359	旧豊橋藩藩札引替え方法につき額田県より布達写 （明治五年十月）……………	546
360	旧豊橋藩銭札に大蔵省朱印を押印し流通させるにつき額田県 より布達写（明治五年十月）……………	547
361	旧岡崎・拳母両藩の藩札流通支障なきにつき額田県より布達 写（明治五年十二月）……………	547

第四節 藩債処分

一 旧大名家

362	旧尾張藩藩債消却につき演説書および海東郡津島村水野長八ほかより請書写(抄) (明治五年七月)……………	548
363	尾張徳川家の私債負担引受け承諾につき徳川慶勝・義直より水野長八ほか宛札状(明治五年九月)……………	549
364	旧犬山藩藩債の公債への変更を求める成瀬正肥より東京府宛願書写(明治五年五月)……………	549
365	旧今尾県借上金返済をめぐる訴訟に関する愛知郡南野村の一件記録(抄) (明治五年十月・十一月)……………	551
366	旧今尾県借上金返済(租税充当につき愛知郡南野村横江ほかより愛知県宛願書控(明治五年十一月)……………	554
367	旧西尾県負債の一部を私費にて消却につき松平乗秩より願書写(明治五年五月)……………	555
368	旧西尾藩負債につき幡豆郡羽塚村中村平一郎より大蔵省宛願書写(明治五年十月)……………	556
369	負債額調査書の内容誤りにつき幡豆郡羽塚村中村平一郎より額田県宛託書写(明治五年十一月)……………	558

二 旧旗本調達金

370	旧旗本石川家への調達金につき額田郡保久村より願書写(明治四年十二月)……………	558
371	額田郡保久村より旧旗本石川家への調達金借用証書写(明治四年十二月)……………	560
372	旧旗本石川家返金講調達金につき額田郡保久村より伊那県足助役所宛届書控(明治四年十二月)……………	568
373	旧旗本菅沼家ほかへの調達金につき設楽郡新城村鈴木吉次郎より額田県宛届書写(明治五年八月)……………	569

第七章 民衆運動

第一節 凶作への対応

一 年貢減免と拝借金願

374	凶作のため安石代を求める設楽郡稲橋村ほかより三河県宛願書下書(明治元年十月)……………	576
375	御料支配となるに伴い賦課金など減免につき幡豆郡巨海村より三河県宛願書写(明治元年十一月)……………	578
376	水害による凶作のため金札拝借を求める幡豆郡家武村より三河県宛願書写(明治二年五月)……………	579
377	凶作のため旧領主同様の年貢減免を求める八名郡下吉田村より足助役所宛願書写(明治三年十二月)……………	580
378	凶作のため救恤を求める海西郡荷之上村庄屋より願書控(明治二年十二月)……………	581

二 救恤と貧民救済

379	大雨による水害への対応策につき三河県より会計官宛伺書(慶応四年八月)……………	582
380	駿河静岡藩管轄三河国内村々の救恤のため三河県へ石高拝借金貸与につき通達写(明治元年十二月)……………	583
381	救恤として米代金貸渡しにつき拳母藩民政役所より触書写(明治二年七月)……………	583
382	貧民救済のため貯穀貸付けにつき駿河静岡藩より申渡し書および二川宿より請書写(明治三年四月)……………	583
383	災害対策費増加等のため海軍資金等上納猶予につき豊橋藩より弁事役所宛願書写(明治三年十二月)……………	584
384	管内村々における飢饉対策のための貯穀につき駿河静岡藩より通達写(明治四年正月)……………	585
385	貧民救済のため家禄返上につき岡崎藩知事より弁事役所宛願書写(明治四年三月)……………	586
386	葉栗郡宮田村窮民施物取調帳(明治三年四月)……………	586
387	名古屋藩による貧院建設に関する一件記録(明治三年五月から八月)……………	593
388	愛知郡南野村の者を殿夷地開拓へ参加させたまにつき同村より今尾藩宛願書写(明治二年十一月)……………	599

389	三 村で起る騒動	600
390	幡豆郡騒動の關係者への尋問書写(抄)(明治元年十二月)……	606
391	宝飯郡森村佐竹家本家と同家地類および村方との騒動一件記録(明治二年二月・同年十月)……	608
392	碧海郡花園村寺田伝兵衛控地の入百姓の立退きを求めた小前騒動の記録(抄)(明治二年十二月)……	606
393	第二節 変革期の民衆運動	
394	一 稲葉騒動	
395	葉栗郡宮田村三輪源作による稲葉騒動の記録(明治二年十二月)……	611
396	海西郡荷之上村庄屋服部家による稲葉騒動の記録(明治二年十二月)……	613
397	佐屋代官所管内では騒動なきにより供米奉納につき同郡荷之上村庄屋より願書写(明治二年十二月)……	615
398	稲葉騒動へ出張の非常守裁許人への褒賞金下賜につき仰せ渡し書(明治三年正月)……	616
399	稲葉騒動の拡大阻止尽力により苗字帯刀免許につき名古屋藩より仰せ渡し書(明治三年八月)……	616
400	二 伊那県騒動	
401	村役人進退落着につき設楽郡西杉山村より伊那県足助役所宛請書写(明治三年二月)……	616
402	伊那県騒動の記録(明治三年十一月・十二月)……	617
403	東方出張所管下での扇動者捕縛を命じる名古屋藩より通達写(明治三年十二月)……	618
404	伊那県騒動首謀者らの捕縛に関する記録(明治四年正月)……	618
405	今後は小前による騒動なきにつき設楽郡大和田村役人より伊那県役所宛請書写(明治四年正月)……	623
406	伊那県騒動首謀者捕縛により永山大参事帰庁につき伊那県足助役所より通知書写(明治四年正月)……	623
407	伊那県騒動指導者の供述書提出を命じる伊那県より足助役所宛達書(明治四年二月)……	623
408	伊那県騒動の際の独断につき設楽郡西杉山村権左衛門らより同村小前一統宛詫状写(明治四年五月)……	624
409	車廻状作成者の糾明を求める伊那県より足助役所宛通達写(明治四年五月)……	625
410	設楽郡西杉山村半田春平への処罰申渡し書写(明治四年九月)……	625
411	三 土岐郡騒動	
412	四 取締り	
413	土岐郡騒動に対する拳母藩の対応に関する記録(明治二年七月)……	626
414	設楽郡村々の車廻状取調べに関する記録(抄)(明治二年十月)……	628
415	管外村の騒動へ不参加につき静岡藩管下八名郡名号村小前一同より同村役人宛請書(明治二年十月)……	629
416	徒党致さずにつき設楽郡田口組九か村より重原藩宛請書写(明治二年十月)……	630
417	多人数での寄合禁止につき伊那県役所より設楽郡下平井村ほか宛通達写(明治二年十二月)……	631
418	徒党取締りの主旨徹底を命じる豊橋藩郡政役所より触書および小前より請書写(明治三年三月)……	631
419	小前による寄合の禁止につき駿河静岡藩管下宝飯郡組合七か村村役人規定書控(明治四年正月)……	632
420	東京からの浮浪の土取締りにつき名古屋藩大代官所より名古屋村ほか宛触書写(明治二年四月)……	634
421	徘徊する不審者の取締りにつき海西郡荷之上村庄屋より佐屋代官所宛願書写(明治二年六月)……	634
422	物取りへの処罰につき設楽郡上栗代村小前一同取決め書(明治三年閏十月)……	635

第三節 大浜騒動

一 発端と経過

417 指導者碧海郡小川村蓮泉寺石川台嶺の供述書写 (明治四年六月) ..... 637

二 鎮庄の過程

418 騒動鎮庄のため出兵した西尾藩より弁事役所宛状況報告書写 (明治四年三月) ..... 644

419 騒動鎮庄のため出兵した重原藩より弁事役所宛状況報告書写 (明治四年三月) ..... 644

420 官員殺害の糾明を求める上総菊間藩より東本願寺宛要請書写 (抄) (明治四年三月) ..... 645

421 重原藩管轄寺院の騒動加担の有無取調べにつき同藩より弁事役所宛報告書写 (明治四年三月) ..... 646

422 碧海郡棚尾村北組島居新六ら暴徒取押えにつき上総菊間藩より褒状 (明治四年三月) ..... 646

423 碧海郡矢作村勝蓮寺と幡豆郡上羽角村専念寺の供述書写 (明治四年四月) ..... 647

424 碧海郡大浜村精界寺の供述書 (明治四年四月) ..... 648

425 額田郡細川村順行寺祐賢の供述書 (明治四年六月) ..... 649

426 碧海郡棚尾村光輪寺賢立および同郡大浜村西方寺殿照の供述書写 (明治四年六月) ..... 650

427 三河国順門寺鉄賢の供述書下書 (明治四年十一月) ..... 653

428 三 影響と処分  
多人数での説諭および軽拳妄動禁止の本山からの通達につき本證寺より通知書 (明治四年四月) ..... 655

429 末寺の不始末につき東本願寺より渡辺民部大丞宛始末書写 (明治四年四月) ..... 656

430 民部省岡崎出張所よりの軽拳妄動慎みの通達につき豊橋藩聴訟係より通知書写 (明治四年四月) ..... 657

431 三河国内東本願寺寺院取締りにつき加茂郡野口村増慶寺諦慶ほかより請書案文 (明治四年六月) ..... 658

432 大浜騒動後の寺院取締りにつき民部省出張所より三河国内諸寺院宛通達写 (明治四年六月) ..... 660

433 旧上総菊間藩知事水野忠敬の進退につき伺書写 (明治四年九月) ..... 662

434 騒動関与の僧侶眷属の処罰等につき静岡県ほかより大藏省宛伺書写 (明治四年十一月) ..... 662

第八章 社会と文化

第一節 記録からみた社会

435 海西郡荷之上村庄屋服部家の日記 (慶応四年六月・七月) ..... 666

436 肥前国彼杵郡浦上村のキリシタン預かりに関する尾張藩の記録 (慶応四年閏四月) ..... 679

437 収容した肥前国彼杵郡浦上村のキリシタンの処遇につき名古屋県より届書写 (明治四年) ..... 680

第二節 生活

一 暮らし

438 禁煙につき幡豆郡瀬戸村永井勝久より誓詞写 (慶応三年六月) ..... 686

439 立願に際し魚鳥類断ちなどにつき宝飯郡森村佐竹伊予より誓詞写 (明治二年正月) ..... 686

440 禁制の獸類を食した際の措置につき善太郎ほかより設楽郡月村引田組宛取決め書 (慶応四年正月) ..... 686

441 設楽郡長江村の埋葬穴掘役書上帳 (明治二年二月) ..... 687

442 設楽郡長江村に新設予定の牛馬斃場実測図 ..... 689

443 二 若者組  
額田郡東阿知波村若者組発起の両徳講仕法書 (明治三年十月) ..... 689

細目次

458	海西郡荷之上村郷社芝ヶ森社祠官小田切春江に贈る歌および和歌控(明治五年五月)……………	701
457	渡り神送りにつき設楽郡大谷村儀智より同村滝氏宛誦文(明治五年三月)……………	700
456	座頭取締りにつき神明前林青一ほかより宝飯郡下佐脇村宛証文(明治四年正月)……………	700
455	法頭より設楽郡名倉村大龍院秀全宛家職補任状(明治三年十一月)……………	699
454	普化宗門取締りにつき遠江国普大寺役僧より証文(明治三年十一月)……………	699
453	神拜式伝授につき葉栗郡宮田村三輪重尚より佐分但馬守宛請文下書(明治二年三月)……………	698
452	盲人取締りにつき三ツ井検校下加茂郡足助郷座役組頭より設楽郡村々宛通知書写(明治二年二月)……………	697
451	遠江国可睡斎より宝飯郡八幡村西明寺宛掟書写(慶応四年四月)……………	697
450	俳優稼業への鑑札交付を求める知多郡乙川村榑原義雄より愛知県宛願書写(明治六年五月)……………	696
449	俳優稼業務めたきにつき知多郡乙川村榑原某より愛知県宛願書写(明治六年七月)……………	695
448	相撲稼業への鑑札交付を求める葉栗郡宮田村宮田川清八ほかより愛知県宛願書(明治六年三月)……………	695
447	葉栗郡宮田村伊藤与兵衛から相撲興行税納付につき同村副戸長より愛知県宛願書(明治六年三月)……………	694
446	相撲興行実施につき葉栗郡宮田村伊藤与兵衛より愛知県宛願書(明治六年三月)……………	694
445	春日井郡河内屋新田村に若者組はなきにつき届書写……………	694 693
444	設楽郡下津具村若者組の取決め書写(明治五年七月)……………	693
	<b>三 娯楽</b>	
	<b>四 信仰</b>	
461	岡崎駅の御用病院で悴を修行させたきにつき三田無忍より名古屋藩宛願書控(明治二年六月)……………	704
462	石井隆庵・伊藤圭介より願い出の種痘所建設に関する記録(明治三年閏十月)……………	704
463	三田柳庵の医療に関する履歴書写(明治六年六月)……………	706
464	設楽郡内医師の医療行為に関する規則書写(明治八年一月)……………	706
	<b>二 郷学校・義校・小学校</b>	
465	加茂郡足助村に学校設立などを求める伊那県足助役所宛建言書写(明治三年閏十月)……………	707
466	設楽郡稲橋村明月清風校開校における寄付金および諸雑費勘定書(明治五年八月)……………	709
467	設楽郡稲橋村明月清風校蔵書目録(明治五年八月から同七年三月)……………	714
468	設楽郡稲橋村義校の職員・生徒数等届書写(明治六年三月)……………	718
469	設楽郡稲橋村小学校自費にて建設につき同村副戸長ほかより愛知県宛願書写(明治六年六月)……………	718
470	設楽郡稲橋村小学校建設につき同村副戸長ほかより愛知県宛願書(明治六年十一月)……………	719
471	設楽郡稲橋村下等小学の時間割および校則(明治六年)……………	721
472	祠官と教員の兼務につき設楽郡稲橋村明月清風学校より愛知県宛願書控(明治七年十一月)……………	723
473	義校開設への尽力依頼につき愛知県より熊沢重左衛門ほか宛通知書(明治五年九月)……………	723
	<b>第三節 医療・教育</b>	
	<b>一 医療</b>	
460	国風社入社につき社長高松保美より俳人永島拾山宛許可状(明治八年二月)……………	703
459	教林盟社規約(明治七年)……………	702
	<b>五 結社</b>	

474	学校巡視につき学区取締より即修学校・克己学校宛通知書 （明治六年二月）……………	724
475	丹羽郡瀬部村義校開設につき同村副戸長ほかより愛知県宛願書 （明治六年二月）……………	724
476	丹羽郡瀬部村義校開校許可につき愛知県より同村ほか一〇か 村宛通知書写（明治六年二月）……………	725
477	義校開校につき熊沢方へ出頭を求める学校係より葉栗郡東浅 井村ほか宛通知書（明治六年二月）……………	725
478	義校開設に関する面談断りにつき丹羽郡江森村副戸長より熊 沢重左衛門宛書状（明治六年二月）……………	725
479	丹羽郡瀬部村義校の筆授師依頼につき同郡鳥宮村副戸長より 熊沢氏ほか宛書状（明治六年二月）……………	726
480	郷学校設立につき宝飯郡西郡村・蒲形村ほかより願書および 設置要綱下書……………	726
481	幡豆郡岡山村花岳寺に仮学校設立につき趣意書控 （明治九年七月）……………	727
三 諸学校・塾		
482	明倫堂句読授任命につき名古屋藩より小出定吉宛通知書 （明治二年二月）……………	729
483	学校敷地に屋敷地を提供につき岡崎藩知事本多忠直より都筑 惣左衛門宛書状（明治二年九月）……………	729
484	岡崎允文館の職員名簿……………	730
485	豊橋藩時習館での手習学寮神祭における祝詞写 （明治三年十一月）……………	730
486	漢学修行につき村雨武治ほかより重原藩元参政内藤魯一宛書 状（明治二年八月）……………	731
487	重原藩元参政内藤魯一帰藩につき今井辱知より送別の辞 （明治三年八月）……………	731
488	重原藩元参政内藤魯一帰藩につき西島昌邦より送別の辞 （明治三年八月）……………	733
489	重原藩元参政内藤魯一帰藩につき高橋千尋より送別の辞 （明治三年八月）……………	733
490	洋学修行のため上京につき知多郡乙川村榊原保磨より愛知県 宛願書写（明治六年一月）……………	734



初期文書編

第一章 村

第一節 年貢

1	知多郡大野村年貢皆済目録（慶長十四年十二月）	825
2	設楽郡田峯村年貢免状（慶長十五年十二月）	825
3	設楽郡大立村年貢免状（元和元年十一月）	825
4	知多郡師崎村網方の年貢請状（元和三年正月）	826
5	設楽郡大谷村年貢皆済目録（元和五年十二月）	826
6	知多郡日間賀村年貢皆済目録（慶安三年十一月）	826
7	設楽郡小田村茶年貢取調帳（慶安五年九月）	827
	（第二節 村のありよう）	
8	宝飯郡森村清蔵地所へ新百姓割付につき清十ほかより請状（慶長十八年二月）	829
9	宝飯郡森村入百姓の由来書（寛永年間）	830
10	宝飯郡森村佐竹本家の格式由来につき定書写（寛永二十一年三月）	831
11	庄屋による高分けなど迷惑につき設楽郡川角村新五郎より幕府奉行宛訴状控（慶長十九年七月）	833
12	設楽郡徳定村作ノ二借用証文（寛永二十年十二月）	833
13	碧海郡花園村より吉原村分村につき取決め書写（寛永十年十一月）	834
14	知多郡小鈴谷村家並帳（正保二年十二月）	834
15	設楽郡尾籠村組頭年貢取込みにつき同郡柿野村久三郎より三河代官宛訴状控（万治二年三月）	843
16	加茂郡殿貝津村の検見に関する記録（寛文二年正月から延宝元年正月）	844

第二章 支配

第一節 武家奉公

17	兄弟への屋敷田地分配につき設楽郡川角村新右衛門ほかより証文（寛文九年十二月）	850
18	渥美郡小浜村長三郎吉田藩水野家家中へ奉公につき同村庄屋より請状写（正保元年十二月）	851
19	設楽郡杉山村たけ交代寄合菅沼家家中へ奉公につき同村より請状写（慶安四年十二月）	852
	（第二節 鷹狩り）	
20	名古屋・大山間の鷹狩り御用の馬徴発につき尾張藩年寄ほかより申渡し書（元和七年七月）	852
21	尾張藩士鈴木作助代幸島市郎右衛門より春日井郡小牧村宛唐鳩受取状（元和八年五月）	853
22	給仕作法書（抄）（慶安元年九月）	853
23	春日井郡小牧村より尾張藩鳥見衆宛約定書（明暦元年十月）	858
24	鷹の巢および巢鷹につき設楽郡古戸村より三河代官鳥山精明宛誓約書控（明暦四年三月）	858
	（第三章 境界と入会）	
25	大野沢山境界につき岡崎藩本多十郎左衛門より山内久太郎宛仰せ渡し書（慶長十年二月）	859
26	百月留山支配につき岡崎藩本多十郎左衛門より加茂郡市場村宛定書写（慶長十五年五月）	859
27	渥美郡中山村ほか所持の原山を同郡畠村に刈り取らせることは迷惑につき訴状写（寛永五年正月）	860
28	宝飯郡麻生田村との木草刈取り出入りにつき同郡一宮村より幕府奉行宛訴状写（寛永七年七月）	861
29	設楽郡川角村との出入り裁許の実施を求める同郡黒川村より三河代官宛願書（寛永十一年五月）	862

30	内済条項の遵守を求める設楽郡杉山村ほか五か村より同郡布里村ほか宛達書写(寛永十六年六月)……………	862
31	岩之谷内山は宝飯郡御油村と入会なきにつき同郡赤坂村より幕府奉行宛返答書控(寛永十八年二月)……………	863
32	渥美郡高木村海の境界取決めにつき同村惣太夫ほかより請書写(寛永十九年九月)……………	865
33	入会をめぐる宝飯郡御油村との訴訟につき同郡赤坂村より幕府奉行宛願書控(寛永二十一年二月)……………	865
34	田口山は田内山ではなきにつき設楽郡中島村ほか四か村より三河代官宛訴状写(正保三年十一月)……………	866
35	設楽郡川合村と同郡大野村との山論内済につき取り替わし証文(慶安二年四月)……………	868
36	段戸山御林伐木で預けの牛取戻しにつき設楽郡笠井島村百姓より同郡田峯村宛請書(明暦三年十月)……………	869
<b>第四章 土地と開発</b>		
<b>第一節 開発</b>		
37	幡豆郡大戸新地開発につき西尾藩主本多俊次より大戸新田三矢喜太郎宛判物(寛永二年六月)……………	870
38	入鹿新田開発許可につき尾張藩用水奉行より春日井郡小牧村ほか宛達書(寛永十一年十月)……………	870
<b>第二節 土地の譲渡</b>		
39	加藤杏雲齋田地譲り状(慶長十二年七月)……………	870
40	加藤杏雲齋後家屋敷売渡し証文写(慶長十二年十二月)……………	871
41	加藤清三郎田地売渡し証文(慶長十五年十二月)……………	872
42	加藤清三郎田地売渡し証文(慶長十五年十二月)……………	872
43	小牧御殿敷地潰れ地につき春日井郡市之久田村庄屋らより尾張藩作事奉行宛届書写(慶安元年四月)……………	873
44	設楽郡西田内村長右衛門より喜助宛山永代売渡し証文(万治三年十二月)……………	873
45	熱田中瀬町屋敷地と美濃竹ヶ鼻の地所交換につき白鳥梅専院より田島丹波宛証文(寛文五年九月)……………	873
<b>第五章 交通・流通</b>		
46	東海道御油宿・赤坂宿間の駄賃につき江戸町年寄より御油町中宛定書(慶長七年六月)……………	874
47	春日井郡下小田井村市兵衛ほかを枇杷島橋橋守に任命につき仰せ渡し書写(元和八年)……………	875
48	名古屋へ急御用につき尾張藩士江坂清右衛門より宿中宛馬継手形(寛永十年三月)……………	875
49	交代寄合菅沼定実新居関所通行時の鉄砲手形(明暦二年閏四月)……………	875
50	船荷物渡し場をめぐる争論につき八名郡宇川村喜八郎より三河代官手代宛訴状写(万治元年十二月)……………	876
51	船荷物渡し場争論内済につき設楽郡長篠村無相ほかより八名郡宇川村喜八宛証文(万治二年四月)……………	878
<b>第六章 職人</b>		
52	尾張藩鑄物師頭水野太郎左衛門家の記録(寛永年間から寛文十一年)……………	879
53	役釜・五徳請取りにつき守那五左衛門ほかより水野太郎左衛門宛証文(寛永十一年十二月)……………	881
54	設楽郡寺脇村八幡社棟札(承応二年十一月)……………	881
<b>第七章 宗教・文化</b>		
<b>第一節 宗教</b>		
55	勤気につき又兵衛ほかより碧海郡野寺村本證寺宛証証文(慶長十三年三月)……………	882
56	諸浪士・山伏・六部取締りにつき幕府寺社奉行所より仰せ渡し書写(寛文二年四月)……………	882

			第二節 文化	
			愛宕四十八天狗祭文（慶長十八年三月）	57
			設楽郡山内花祭り神楽次第（明暦二年十二月）	58
			佐々木吉次より早川勝右衛門宛砲術兵法相伝書	59
			（慶長十八年九月）	891
				888
				884